

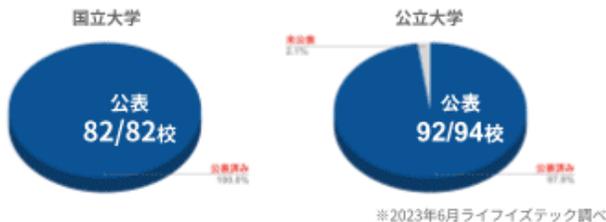
大学受験に「情報Ⅰ」対策は必須！

一般選抜

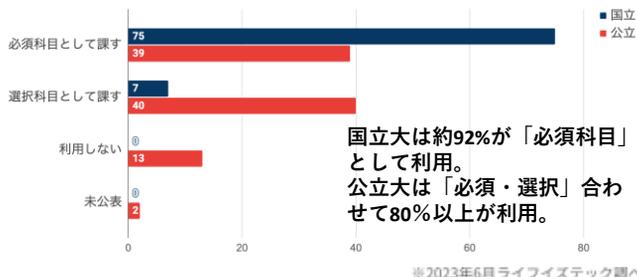
国公立大入試で原則必須！さらに私立大も！

2025年1月に実施される大学入学共通テストから、新たな科目「情報Ⅰ」（60分、100点満点）が追加され、今までの5教科7科目から「6教科8科目」での受験となります。すでに国立大82校のすべての大学が共通テストで「情報Ⅰ」を課すことを公表しています。

国公立大の「情報Ⅰ」入試に関する公表状況



国公立大 2025年1月共通テスト「情報Ⅰ」の利用状況



「情報Ⅰ」の共通テスト得点へのインパクト

例) 6教科8科目で【得点率80%】を目指す場合

英語	数学	国語	理科	地歴公民	情報Ⅰ	目標得点
5教科7科目で 720/900点	80/100点	800/1000点				

「情報Ⅰ」の得点	30/100点の場合	他科目のリカバリー	➡50点分が必要
----------	------------	-----------	----------

英語	数学	国語	理科	地歴公民	情報Ⅰ	目標得点
5教科7科目で ➡50点分 (+5%) のリカバリーが必要!	➡30/100点	800/1000点				

例えば6教科8科目で共通テスト得点率80%をめざす場合、「情報Ⅰ」で目標得点を大きく下回ると、他の科目で不足分をリカバリーしなければなりません。これは非常に困難です。そのために、「情報Ⅰ」は高2終了までの早期段階で、共通テストの目標得点以上を取れる状態へ仕上げておくことが志望校合格への近道です！

「情報Ⅰ」は、文系・理系を問わず、すべての高校生にとって対策が必要な科目です。一人ひとりの目標に合わせて、共通テスト・定期テスト得点アップの「情報Ⅰ」対策を始めましょう！

「情報Ⅰ」対策のポイントとは？

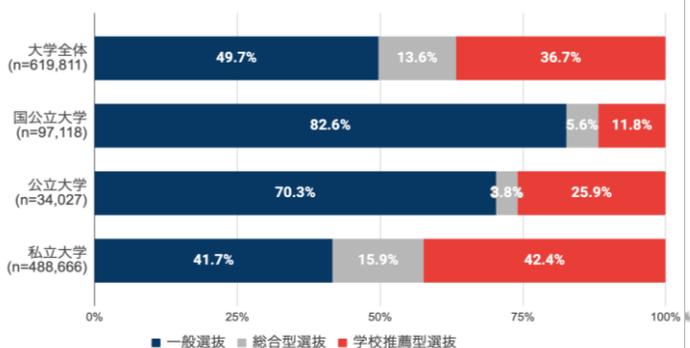
「情報Ⅰ」は学習範囲が非常に広い科目です。プログラミングだけでなく、データの活用や情報デザインなど、様々な専門的分野を学ぶ必要があります。また、2025年1月の共通テストから主要科目の学習負担も増加するため、高3から「情報Ⅰ」対策を始めるのでは間に合いません。いかに早く高1,2から「情報Ⅰ」対策をスタートできるかが入試攻略のカギです！

学校推薦型選抜

学校の定期テスト「情報Ⅰ」対策が肝心！

私立大入試では総合選抜型選抜と学校推薦型選抜が広がり、入学者の約6割がこれらの入試利用者です。特に、学校の成績（評定平均）が重視される「学校推薦型選抜」による入学者が全体の4割以上を占めます。この評定平均で「情報Ⅰ」は他科目と同じ比重で評価されることがポイントです。

大学入学者の選抜方法（国公立・入学者数別）※文部科学省調査より



「情報Ⅰ」の評定平均へのインパクト

例) 高校1年生

英語	英語	数学	数学	国語	国語	理科	理科	地歴	情報Ⅰ	評定平均
4	4	5	4	5	4	4	5	4	3	4.2

全体の評定平均 +0.1前後 単年度の評定平均 +0.1~0.3

英語	英語	数学	数学	国語	国語	理科	理科	地歴	情報Ⅰ	評定平均
4	4	5	4	5	4	4	5	4	5	4.4

「情報Ⅰ」の成績が、単年度の評定平均に与える影響は0.1~0.3、高校3年間の全体評定平均で0.1前後です。この「0.1~0.3」という数字は、出願基準に達するか、学校内選考を勝ち抜けるかを左右する重みがあります。そして「情報Ⅰ」の評定を上げるチャンスは、履修学年のたった一度だけです！

私立大の「共通テスト利用入試」の選択科目にも！

共通テスト利用入試において、数学や理科など選択科目の1つとして「情報Ⅰ」を導入する動きが加速しています。高得点を狙える「情報Ⅰ」を武器にして、1ランク上の大学合格を狙っていきましょう！